



日本文學全史卷六

室町文學史

吉澤義則著



昭和十一年十二月七日印刷
昭和十一年十二月十二日發行

日本文學全史卷六
室町文學史

不許複製

著者

吉澤義則

發行者

大野孫平

印刷者

大橋光吉

東京市麩町四丁目七番地
株式會社東京堂代表者

東京市小石川區久堅町一〇八番地

發行所

東京市麩町七番地
株式會社

東京堂

振替口座東京二七〇番
電話九段(33)自四一四一一九番

製本 仲村庄治

(刷印社會式株刷印同共)

序

日本文學史上王朝時代と江戸時代との連鎖となり、承前起後の地位を占むるものは、實に鎌倉室町時代の文學である。平安朝末期の批判的内省的な傾向は鎌倉室町にも流れて一層深刻になつた。殊に禪宗の枯淡簡素の趣はあらゆる方面に瀰漫し、佛教思想は低級ながら社會精神の指導に預つてゐた。従つてまた隱遁的な傾向も現れてゐる。

かくてこの時代には源氏物語、枕冊子のやうな華麗な作品もなく、芭蕉、近松、西鶴のやうな偉大な作家も見當らぬが、文學形態の多種多様を其の一特色とする。概して質實にして愛すべき風格を備へ、殊に軍記物語や連歌や謠曲狂言の如きに至つては、他の時代の作品には絶えて匹儔を見ざる特質と價値とを有つてゐる。

日本文學全史出版の壯舉が東京堂の手に依つて企畫されるや、予はこの興味多く問題多き鎌倉室町時代文學史を割當てられることとなつた。しかし、最初に熟慮を要したのは、この時代の文學史を如何やうな態度方針で書くかと言ふ一事であつた。

文學史の職能としては、言ふまでもなく、文學の本質、精神、様式等を辿り、それら相互の關係

や史的な意義を跡づけるといふ事を第一義とせねばならぬ。しかし鎌倉室町時代の文學は、上記の如き文學史を書くには、あまりに未開拓の分野が多過ぎる。資料の整理とか、文學的事象の探究とか、さういふ根本的、分析的な作業が成されることなくしては、綜合的、全體的にこれを大觀する事は不可能である。また近年貴重な傳本の發見報告が相承いで行はれ、新研究の發表もまた日を逐うて盛んである。是等の成果を蒐集整頓して、基礎的文獻學的な、また一面解題的、啓蒙的な文學史を纏め上げるのも決して無用ではなからう。これは何れの時代の文學に於てもさうであるが、中世の國文學に於て特にその感が深い。

本書はかゝる見地から室町時代文學を取扱つたのである。従つて、そこには一家言を述べるといふよりも従來の權威ある新研究を網羅して、「現在の研究の水準線」を示すことを以て主眼とした。ついで上梓せんとする鎌倉時代文學史と共に、世に何等かの裨補する所があれば幸である。

但し前にも述べたやうに、この期の文學には未だ斧の及ばない森林が特に多い。その爲、さて筆を執つて見ると、あちらでは突當り、こちらでは突當り、なか／＼計畫を遂行することが出来ない。曲りくねつて纔に歸結を見たやうなわけで、意外な時日を要したのみならず、讀者の期待に反かざるを得なかつたことは、かへす／＼もお恥しい次第である。

最後に本書著述上の参考となつた一般諸學者の業績に對しては深く敬意を表すると共に、挿畫材料をお貸し下さつた藤井乙男、高野辰之兩博士、猪熊信男、富岡益太郎、御巫清勇諸氏及び公私の文庫圖書館、また終始助力の勞を惜まれなかつた後藤丹治、本位田重美の二氏並びに種々助言を寄せられた山岸徳平氏に厚く感謝の念を表す。

昭和十一年十一月

吉澤義則

室町文學史

目次

序 説

第一章 時代概観……………一

時代區分……建武中興……南北兩朝の分立……下剋上の風潮……尊皇思想……義滿義政の驕奢……應仁の亂……安土桃山時代

第二章 學術文藝の概観……………一七

五山學藝の影響 宋元の新學風……繪畫……園藝……醫藥……建築……茶道 香道 花道……能樂 狂言……和歌小説の衰微……料理……吉野時代の作品……室町時代の作品

第一編 前期 吉野時代

第一章 歴史文學及び軍記物語……………二九

第一節 歴史文學……………二九

一 神皇正統記……………二元

書名……成立……北畠親房……價值……傳本……影響

續神皇正統記……………三元

神皇正統錄……………四〇

二 增 鏡……………四一

書名……成立……作者……傳本……價值

三 梅松論から保曆間記まで……………四〇

梅松論附源威集……………五〇

吉野拾遺……………五七

保曆間記……………六四

第二節 軍記物語……………六五

一 太平記……………六五

書名……成立……價值……傳本……影響

二 奥州後三年記……………七三

三 明德記……………七六

第二章 隨筆、日記、紀行…………… 九

第一節 徒然草…………… 九

兼好…書名…成立…文章形體…價值…傳本…影響

第二節 日記、紀行…………… 九

一 竹むきの記…………… 九

二 大神宮參詣記…………… 九

三 都のつと…………… 九

四 小島の口ずさみ…………… 一〇

五 道ゆきぶり…………… 一〇

第三章 和歌と連歌…………… 一〇

第一節 勅撰集の不振と新葉集…………… 一〇

一 勅撰集の不振…………… 一〇

風雅集…………… 一〇

新千載集…………… 一一

新拾遺集……………二五

新後拾遺集……………二七

勅撰集と武家との關係……………二九

二 新葉集……………三三

撰者……傳本……撰述の動機……宗良親王……組織……影響……價值

第二節 頓阿の草庵集……………三三

兼好……淨辨……慶雲……頓阿……草庵集……李花集

第三節 二條良基と連歌道の確立……………三三

連歌の起源及びその發達……二條良基……菟玖波集……應安新式……筑波問答

擊蒙句法、連理祕抄、知連抄

第四章 神道集その他……………三五

第一節 神道集……………三五

組織……傳本……成立……作者……本地物との交渉

第二節 覺如の繪傳と眞言傳……………三六

慕歸繪詞……………三六

最須敬重繪詞	一五
眞言傳	一六

第二編 後期 明德以後

第一章 物語小説	一七
----------	----

第一節 稚兒物語	一七
----------	----

秋の夜の長物語	一七
---------	----

鳥部山物語	一七
-------	----

第二節 遁世物語	一八
----------	----

三人法師	一八
------	----

朽木櫻	一九
-----	----

さいさ	一九
-----	----

第三節 繼子物語	一九
----------	----

鉢かつぎ	一九
------	----

小落窪	一九
-----	----

第四節 祝儀物語……………101

文正草子……………101

物くさ太郎……………106

一寸法師……………109

第五節 復讐物語……………113

あきみち……………113

第六節 戀物語……………116

忍音物語……………116

横笛草紙……………117

第七節 異類物語……………115

精進魚類物語……………115

鴉鷺合戦物語……………110

第八節 孝行物語……………115

七草草紙……………115

蛤草紙……………116

第九節 英雄物語……………二三八

御曹子島わたり……………二三元

貴船の本地……………二四三

第十節 佛教物語……………二四八

さざれ石……………二四八

寶滿長者……………二五〇

熊野の本地……………二五一

第十一節 その他……………二五三

四十二の物あらしひ……………二五四

福富草子……………二五七

破來頓繪卷……………二六〇

酒頭童子……………二六一

辨慶物語……………二六四

百合若大臣……………二六七

淨瑠璃十二段草子……………二七二

第二章 軍記物語……………二七七

第一節 曾我物語……………二七七

内容…傳本…價值…作者…成立

第二節 義經記……………二八五

内容…傳本…作者…成立…價值

第三節 結城戰場物語から大塔物語まで……………二九五

結城戰場物語……………二九五

笹子落の草子・中尾落の草子……………二九九

大塔物語……………三〇一

第三章 演劇と歌謡……………三〇五

第一節 謡曲狂言……………三〇五

謡曲……………三〇五

名義…能樂起源…大成…流派…題材…組織…作者…詞章…傳本

狂言……………三三〇

第二節 幸若舞の詞……………三六

桃井幸若丸…幸若舞の起源…隆替…曲目…幸若舞の詞成立年代…作者…傳本…題材

第三節 小歌……………三九

閑吟集……………三九

室町時代小歌集……………四一

第四章 連歌の隆盛と和歌の衰頹……………四四

第一節 連歌の隆盛……………四四

宗祇以前……………四四

梵灯庵…宗砌…心敬…智蘊

宗祇とその門流……………四九

水無瀬三吟百韻…宗祇…湯山百韻…竹林抄…新撰菟玖波集…兼載…

…宵柏…宗長…宗碩…宗牧…周桂…連歌合

紹巴……………五六

俳諧連歌……………七〇

目

次

九

山崎宗鑑……荒木田守武

第二節 和歌の衰頹……………三五

新續古今集……………三五

勅撰集の企劃……………三八〇

義政の企劃……義尙の撰藻集

當代の歌人……………三八五

正徹……東常縁……三條西實隆……太田道灌

古今傳授……………三九〇

第五章 漢文學……………三九七

第一節 宋學の傳來と後醍醐帝の學藝……………三九八

宋學の傳來……後醍醐帝と宋學……その學藝

第二節 五山十刹の學僧とその著作……………四〇六

五山十刹……禪僧の社會指導……海外交通……虎關……夢窓……絶海……岐陽……

桂悟……桂庵……惟肖……江西……太白……心田

第三節 義堂周信の詩とその濟世利民觀……………四一九